



## 2023 AUTOBACS SUPER GT Round4 FUJI GT 450km RACE REPORT

カテゴリー	:GT300
カーナンバー	:9
エントリー名	:PACIFIC RACING TEAM
マシン名	:PACIFIC ぶいすぽっ NAC AMG
タイヤ	:YOKOHAMA
ドライバー	:阪口良平、Liang Jiatong、川端伸太郎
レースクイーン	:Pacific Fairies
開催日	:2023年8月5日-6日
会場	:富士スピードウェイ (一周4.563 km)
天候	:8月5日☀ (DRY) 8月6日☁ (WET)
気温	:8月5日 32℃ 8月6日 25℃
路面温度	:8月5日 43℃ 8月6日 31℃
参戦車両数	:GT500/15台 GT300/27台 合計42台
Best Lap	: 1'40.234
Q1(A Group)	:12位/14台
Q2	:-
決勝	:22位/25台



目まぐるしく変わるコンディション  
冷静に対応し22位のチェッカー

## 事前情報

SUPER GT 2023シリーズではMercedes AMG GT3で参戦。  
女性バーチャルYouTuberグループ「ぶいすぽっ！」とタイアップし、スポーティー&ポップなカラーリングで大きな注目が集まる。  
Rd.1岡山戦でのクラッシュにより重大なダメージを負ってしまい、Rd.2富士戦は欠場となったが、車両入替でRd.3鈴鹿戦は見事復帰を果たしている。  
Rd.4富士の公式練習では駆動系にトラブルが出てしまい、一時出走が危ぶまれたが、AMGサポートやエンジニア、メカニックの懸命な修復により無事復活出走となった。

## 公式予選：Q1 Aグループ



2023.8.5  
15:20-15:30  
Driver 阪口良平  
天気 晴れ  
路面 DRY  
Best Lap 1'38.390  
LAP数 6Lap

### ■ 怒涛の追を見せるもQ2進出ならず

GT300クラスの予選は、シリーズランキングにより14台ずつA組、B組に分けられ、PACIFIC ぶいすぽっ NAC AMGは強豪揃うA組に区分された。14台のうち上位8台に入れば、Q2進出となる。阪口が3周かけタイヤを暖め、タイムアタックを開始する。最終アタックの6周目に1分38秒390をマークしたが、上位8台には食い込めず12番手となり、Q2進出とはならなかった。

## 決勝



**2023.8.6 13:45-17:30**

**Driver** 阪口良平/Liang Jiatong/川端伸太郎

**天気** 雨

**路面** WET

**Best Lap** 1'40.234

**LAP数** 11Lap/42Lap/38Lap

6日は朝から雲が広がり、雨予報の出る中3万200人もファンがサーキットに詰めかけた。予選日にも2万200人が来場しており、2日間の観客数は5万400人と前年度の観客を2500人上回った。多くの注目が集まる中、阪口の追い上げに期待がかかった。

通常より長い450kmレースでは給油のためのピットイン作業2回が義務付けられている。

チームはまず阪口をスタートで走らせポジションを上げ、L.Jiatong に繋ぎポジションをキープするという作戦を採ることとした。

天候が目まぐるしく変わるコンディションの中、阪口はWETタイヤでスタート。8LAP目まででポジションを5つ上げ18番手まで追い上げた。しかし11LAP目、予定より早くタイヤが厳しくなりピットイン。タイヤ交換を行い2ndドライバーの L. Jiatong に繋いだ。順位にLAP重ね、22番手までポジションを上げる、41LAPを走行し川端へと引き継いだ。残り赤旗中断や大雨など様々な出来事があったが、22番手を守り切りチェッカー。

次戦への望みを伺えるレースとなった。



## COMMENT



### エントラント代表 神野元樹

「第3戦鈴鹿の悔しい思いを晴らすべく臨んだ第4戦でしたが、今回も多くの課題が見つかった2日間だったと思います。

ですが、目まぐるしく変わるコンディションや車両のトラブルの中で無事に完走できたことはシーズン前半戦の締めくくりとして大きな糧になったと感じています。

また、決勝日はひどい雨であったにも関わらずピットウォークで多くのお客様に来ていただき、本当にこのチームはファンの方々の愛情で支えられているなど痛感しました。

間もなく第5戦鈴鹿が控えていますが、精一杯頑張りますので皆様、引き続きご声援をどうぞよろしくお願いいたします。」



### 阪口良平

「フリー走行の走り出しから様々なトラブルに見舞われしまい、満足の行くセットアップが出来ませんでした。

良かった点は、長丁場の450キロ決勝でマシントラブルやペナルティも無く無事完走出来たこと、Liang選手が決勝マイレージをたくさん稼げたことだと思います。今回から体制面も少し変更になり出遅れてしまった感も有りましたが、チーム力で持ち直し走り切れました。

次戦の鈴鹿ラウンドは速さを取り戻せる9号車を目指しチーム一丸で進んでいきますので宜しくお願いします。」



### Liang Jiatong

「第4戦富士は、技術的な問題で練習走行でマシンをセットアップする時間が十分に取れず、簡単なレースではありませんでした。チームメンバー全員のハードワークに感謝しなければなりません。彼らの尽力のおかげで、無事に450kmのメインレースに出場することができました。

シーズン前半戦におけるチームの信頼とサポートに改めて感謝し、これからもチームに尽力し、シーズン後半戦でさらに強くなれることを願っています。」



### 川端伸太郎

「今大会も応援ありがとうございました。

前戦に続きフリー走行でトラブルが出てしまい、満身にデータを得られず予選と決勝に挑むことになりました。

案の定大苦戦のレースとなり、結果は22位という結果に終わりました。

しかし、タイミングによっては上位勢と変わらないペースで走ることも出来たので次戦こそは上位争いをできるようにチームと協力していきます。」

## PARTNERS



## SPONSORS

